

本学スポーツ選手の心的自己適性診断とその評価

佐藤英雄
吉岡剛

目次

はじめに

1. 方法
 2. 対象
 3. 調査実施時期
 4. テスト結果の診断と評価
 5. 考察
- おわりに

はじめに

われわれが選手になろうとする、また、より優秀な選手を目指そうとしたときに、心・技・体の充実が必要となる¹⁾。心・技・体ともに非常に重要であるが、体の不足は技と心で補うことができ、技の不足も体と心で補うことができる。しかし、心が乱れ崩れた場合、体と技では補いきれないものがある。試合において身体的に劣っていても、長けた技術と精神力でしのいだり、技術が未熟でも、持前の体力と気力で勝利を得たということはよくあることである。しかし、充分の体力と技術を持っていても、相手にのまれる、あがってしまう、自分に不安があるなど、精神的な崩れが、その体力や技術を萎縮させ、満足のない結果を、引き出すことができないのである。それは、心が人を支配してい

(注)

- (1) 日本スポーツ心理学会編『スポーツ心理学概論』「長田一臣4, スポーツと心理学的コンディショニング」不味堂, 1979年, 92~93頁。

るということからの当然の帰結である。

人の行動は、無機物とは違い、意志 (will) , 判断 (judgment) , 情 (emotion) などから構成され、心が中心となっている。

したがって、優秀選手になるためには、精神力が大きなウェートを占めてくるのである。優秀選手養成に必要なものとして、嶋田出雲氏²⁾ は、その競技にどれだけ興味を持ち、どれだけ上手になろうとしているかと言う身体行動の原動力となる、やる気 (passion) ・意欲 (volition) ・意志 (will) の強さが前提条件となり、それに加えて心理的資質、たとえば、集中力 (concentration) ・忍耐力 (patience) ・競争心 (competition) ・リーダーシップ (leadership) ・創造性 (creation) ・協調性 (cooperation) ・適応性 (adaptation) ・勇気 (courage) ・自信 (self-confidence) ・決断力 (decison) ・責任感 (responsibility) などを、どれだけ持っているかが、問題になってくるといっている。もちろん精神的資質は、先天的なもので形成される要素が非常に強いのであるが、しかし、また後天的に形成・発展される部分も少なくないのである。そこで、現在の自分の精神的資質や心的活動を十分に認識することが必要である。なぜならば、今後、自分自身のそれを向上させていくための一つの「しるべ」となるだろうからである。また、指導者がこれを正確に理解することが、練習時の指導、試合時の作戦、オーダーの決定等に役立つものと考えられるからである。

そこでわれわれは、本学学生スポーツクラブ員の精神的資質や心的活動が、どのような状態にあるかを把握するために、「本学スポーツ選手の心的自己適性診断テスト」を実施した。

本稿は、このテストの結果について、若干の考察を試みたものである。

1. 方法

嶋田出雲著『バスケットボールのトレーニング』(大修館)のバスケットボール選手の心的自己適性診断テスト³⁾(表①)が、他種目にも利用できるため

(2) 嶋田出雲『バスケットボールのトレーニング』大修館, 1980年, 40~41頁。

(3) 注(2)同書, 42~44頁。

表① バスケットボール選手の心的自己適性診断テスト 氏名

(1) あなたは、あわてん坊でよく失敗するほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(2) あなたは、怒りがこみあげてくると、カッとになってしまうほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(3) あなたは、つきからつきと気持ちのひかれるままに手をつけていくほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(4) あなたは、どちらかという融通がきかないなどと言われるほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(5) あなたは、落ちついて理屈を考えるよりは、現実的に動きまわるほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(6) あなたは、とかく物事を堅苦しく考え、手際よく処理できないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(7) あなたは、ぼさっと何かを考えて、自然に時間がたってしまうようなことがよくあるほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(8) あなたは、物事に夢中になると、それが終わるまでは他のことを考えられないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(9) あなたは、自分に関心のないことは、知らん顔をしていられるほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(10) あなたは、几帳面なほうで、机の上のものなど曲がっていると、そのままでは気がすまないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(11) あなたは、気軽に冗談を言ったり、はしゃいだりするほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(12) あなたは、単調なことでも、コツコツ粘り強くやれるほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(13) あなたは、よくお人よしと言われるほうですか。	①はい。②ふつう。③いいえ。
(14) あなたは、なにかやり始めると、きりがなくなってなかなかやめられないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(15) あなたは、あまり人づきあいせず、一人でいても寂しくないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(16) あなたは、いつも掃除などは、徹底的にしないと気がすまないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(17) あなたは、ちょっとしたことで、あせりを感じたりして、いらいらするほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(18) あなたは、興奮してくると、自分が押えられなくなりがちなほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(19) あなたは、粘りがなく、ちょっとした困難にぶつかるとへこたれやすいほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(20) あなたは、物事をあくまで追求し、とかくしつこくなりがちなほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(21) あなたは、自分の欠点などを克服しようと、いろいろしてみるが、結局は長つづきしないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(22) あなたは、自分の思いどおりできないようなとき、結局あきらめてしまうほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(23) あなたは、なにかうまくいかなかったとき、いつまでも愚痴っぽく、こぼすほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(24) あなたは、なにかちょっとしたことがあったとき、とかく悪い面ばかりを考えがちのほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(25) あなたは、小説などを読むと、自分が主人公になったような気がするほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(26) あなたは、負けず嫌いで、遊びごとでも負けると口惜しくてしかたがないほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(27) あなたは、人より劣っているように思うことがときどきあります。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(28) あなたは、心配性で体の具合などを人一倍気にするほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(29) あなたは、なにかいいたい時でも、他人の思惑を考えて、ついいいそびれてしまうほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(30) あなたは、割にわかまますとおしてもらえるほうですか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(31) あなたは、目標を立てて、これを必ず達成しようと努力していますか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。
(32) あなたは、毎日の練習の内容がよく理解でき、そのコツがよくわかるほうですか。	①はい。②ふつう。③いいえ。
(33) あなたは、何よりもバスケットボールに一番興味をもっているほうですか。	①はい。②ふつう。③いいえ。
(34) あなたは、優秀な選手になる自信がありますか。	①はい。②わからない。③いいえ。
(35) あなたは、バスケットボールに意義を感じる事ができますか。	①はい。②どちらでもない。③いいえ。

- | | |
|---|---|
| <p>(36) あなたは、上手な人とつきあうことによって、自分を刺激づけているほうですか。</p> <p>(37) あなたは、バスケットボールの勉強をしようと思うことがしばしばあるほうですか。</p> <p>(38) あなたは、バスケットボールの練習にうちこむために、絶えず自分を刺激づけていますか。</p> <p>(39) あなたは、疲れてくると練習をいいかげんにやるほうですか。</p> <p>(40) あなたは、バスケットボールをやるために、障害になるものを取り除くための努力をしていますか。</p> <p>(41) あなたは、非常な心配ごとがあるとき。</p> <p>(42) あなたは、いやな相手にぶつかったとき。</p> <p>(43) あなたは、失敗してコーチあるいは上級生にしかられたとき。</p> <p>(44) あなたは、練習がうまくいかなかったとき。</p> <p>(45) あなたは、むずかしい問題に当面したとき。</p> <p>(46) あなたは、練習中に疲れを感じたとき。</p> <p>(47) あなたは、練習に際して、いろいろの悪条件があるとき。</p> <p>(48) あなたは、自分の欠点を意識させられて、絶望的になったとき。</p> <p>(49) あなたは、コーチあるいは上級生から無理な課題を押しつけられたとき。</p> <p>(50) あなたは、練習時間が5時間も6時間もやらされることを。</p> <p>(51) あなたは、友達を選ぶとき。</p> <p>(52) あなたは、友達がいいプレーをしたとき。</p> <p>(53) あなたは、自分の思うようにいかないことがあるとき。</p> <p>(54) あなたは、ゲームで自分のチームが負けそうになったとき。</p> <p>(55) あなたは、人がいいものを持っているとき。</p> <p>(56) あなたは、バスケットボールの選手として。</p> <p>(57) あなたは、練習がむずかしくてわからないとき。</p> <p>(58) あなたは、人の前でしゃべるとき。</p> <p>(59) あなたは、議論して旗色が悪くなる時。</p> <p>(60) あなたは、バスケットボールの練習がいやになることがあるとき。</p> <p>(61) あなたは、コーチあるいは先輩の言うことは。</p> <p>(62) あなたは、人と喧嘩しやすいほうですか。</p> <p>(63) あなたは、人を待っていると、すぐいらいらしてきますか。</p> | <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> <p>①心配で練習が手につかない。②練習を支障なくやることできる。③両者の中間。</p> <p>②感情的になってうまく対応できない。③感情を押えて、うまく対応することができる。④両者の中間。</p> <p>①やけになってやる気をなくしてしまう。②失敗を成功のきっかけにするよう工夫することができる。③両者の中間(その他)</p> <p>①あせってうまくプレーできない。②落ちついて、よい方法を考えられる。③両者の中間(その他)</p> <p>①自信を失ってよく考えられなくなる。②問題を解決するため、いろいろ工夫することができる。③両者の中間(その他)</p> <p>①疲れが気になって、練習に実がはいらない。②疲れを押えて、練習を続けることができる。③両者の中間(その他)</p> <p>①悪条件のもとでは、練習をうまくやることはできない。②悪条件があっても、それをのりこえて、よい練習をすることができる。③両者の中間(その他)</p> <p>①練習をやる気がなくなってしまう。②すぐ気をとりなおして、練習をやる気になる。③両者の中間(その他)</p> <p>①とてもできないからと投げ出してしまう。②なんとかうまくやってみようとする。③両者の中間(その他)</p> <p>①非常に嫌う。②試練だと思って喜んで努力できる。③なんとかこなすように頑張る。</p> <p>①すぐれた人を選んで、刺激を求める。②同じくらいの人を選ぶ。③自分より下の人を選ぶ。</p> <p>①自分が負けたようでもやしい。②うらやましい。③喜んでやれる。</p> <p>①なんでもして、思うようにいかせようとする。②がっかりしても続けてやれる。③いやになって投げ出してしまう。</p> <p>①みんなをばげまして、なんとか勝とうとする。②勝ち負けに関係なく頑張る。③負けそうになるとすぐあきらめる。</p> <p>①自分もぜひ手に入れたいと思う。②欲しいと思うが無理をしない。③人のことは気にしない。</p> <p>①どんなことをしてでも、ぜひ優秀選手になりたい。②チームのレギュラーであればよい。</p> <p>①そんなことは、あまり気にしない。</p> <p>②なんとかマスターしようと、練習が終わった後でも、最後までねばる。③人に教えてもらおう、あるいは本を見たりして解決していく。④自信を失ってよくよする。</p> <p>①あがってしゃべりにくい。②平気。③両者の中間。</p> <p>①言うことがしどろもどろになる。②冷静に頭が働く。③両者の中間。</p> <p>①しばしばある。②ときたまある。③めったにない。</p> <p>①なるほどと思って、熱心に聞く。②時々反抗しながら聞く。③しかたなく聞く。</p> <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> <p>①はい。②どちらでもない。③いいえ。</p> |
|---|---|

64) あなたは、生まれつき素質はよくないと思う。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
65) あなたは、努力すれば優秀な選手になれると思いますか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
66) あなたは、スランプにおちいりやすいほうですか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
67) あなたは、練習を夢中で。	④やれる。⑤ふつう。⑥やれない。
68) あなたは、いつもバスケットボールのことを。	④考えている。⑤時々考えている。⑥あまり考えない。
69) あなたは、なんでもとことんまでやらないと気がすまないほうですか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
70) あなたは、自分の長所、欠点などを知って、その欠点をなくそうと努力していますか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
71) あなたは、他人が自分の欠点を指摘した場合。	①怒る。②どちらでもない。③感謝する。
72) あなたは、なにかミスをした場合、その原因は。	④自分が悪かったのだと思うほうである。⑤他人のせいだと思うほうである。⑥どちらでもない。
73) あなたは、自分を実際以上に見せることを。	④好む。⑤どちらでもない。⑥好まない。
74) あなたは、練習でいやなことがあったとき。	④気になってよくよくする。⑤すぐに気にならなくなる。⑥練習が終ると、気分が変わってしだいに忘れていく。
75) あなたは、練習前なんとなく憂うつなとき。	④いつまでも憂うつで気分が晴れない。⑥練習をやっているうちにすぐ忘れる。⑦時間がたつと憂うつがうすらくなる。
76) あなたは、人前で失敗して、恥をかいたとき。	④いつまでもよくよくする。⑤すぐ他のことをやっているうちに忘れてしまう。⑥時間がたつと忘れられる。
77) あなたは、自分よりすぐれた同僚がいると。	④追い抜こうと思う。⑤とてもかなわないと思う。⑥関係なくマイペースでいこうと思う。
78) あなたは、壁(ケガをした時なども含む)にぶつかっても、あきらめずに努力するほうですか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
79) あなたは、ここ1本という場面で、自分にシュート・チャンスがめぐってきたとき。	④出てもいいから、思い切ってシュートする。⑤他にいい人がいないか探すほうである。⑥出たときのことが気になって、シュートしないほうである。
80) あなたは、決心がつきかねたため、今までチャンスをのがしたようなことが。	④よくある。⑤ときどきある。⑥ほとんどない。
81) あなたは、ミーティングのとき、自分が先になつて、会を明るくするようなことができますか。	④いつでもできる。⑤ときどきできる。⑥ほとんどできない。
82) あなたは、他人にはげまされなくても、苦しい練習が続けられますか。	④続けられる。⑤どちらでもない。⑥続けられない。
83) あなたは、ミーティングのとき。	④自分の意見をてきばき言うほうです。⑤むしろ人の意見を聞くほうです。⑥どちらでもない。
84) あなたは、バスケットボールに関することが浮んできて、眠れなかったことが。	④よくある。⑤ときどきある。⑥ほとんどない。
85) あなたは、練習のとき、いつも人の先に立ってできるほうですか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
86) あなたは、チームのためなら、どんないやな苦しいことでも、喜んでできますか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
87) あなたは、いつもの練習において、人を励ますほうですか。励まされるほうですか。	④励ます。⑤どちらでもない。⑥励まされる。
88) あなたは、ときにはひどい言葉(ちえっ、ばかなど)を口にしたいくなるほうですか。	④はい。⑤どちらでもない。⑥いいえ。
89) あなたは、練習中よくよくなることか。	④よくある。⑤ときどきある。⑥めったにない。
90) あなたは、バスケットボールに関して自信のもてるものが。	④沢山ある。⑤少しある。⑥ほとんどない。
91) あなたの現在の気分は、次の中から自分に一番適しているものを一つ選んで下さい。	①得意満面。②冷静にプレーできる。 ②思いのまま。③動揺しがちである。 ③信念をもってやっている。④将来が不安である。 ④確信をもってプレーしている。⑤心配である。 ⑤毎日の練習が待ちどおしい。⑥毎日の練習が憂うつである。 ⑥何事にも勇気がある。⑦弱きである。 ⑦練習が愉快である。⑧よくよしがちである。 ⑧練習前でも朗らかである。⑨もうクラブをやめたい。 ⑨毎日元気に練習できる。⑩死にたい。 ⑩絶望的である。

本学スポーツ選手の心的自己診断テスト用に置きかえ実施した。

2. 対象

本学学生スポーツ団体、バスケットボール部(14名)、柔道部(13名)、硬式野球部(44名)を対象とし、また全日本代表選手と元全日本代表選手(各1名・柔道)の回答を得る機会があったので、ここに比較対照として組み入れた。

3. 調査実施時期

昭和55年11月。

4. テスト結果の診断と評価

心的自己適性診断テストの評価は、各質問項目に対する回答(180点満点)の総合得点によって行った⁴⁾(表②)。得点の決め方は、表③⁵⁾の得点表にし

表② バスケットボール選手の心的適性診断テストの診断表

得点	選手の心的診断
(1)140 以上の人	この選手は、精神的資質の基礎となる勤勉さ、熱意、協力、独創力、集中力、旺盛な自信、競争心を持ち、また、信念を持ってバスケットボールに取り組んでいる人で、何事にも恐れない意志堅固な人です。もし、体格、体力、運動能力(技術)にすぐれていたならば、超一流の選手になれる精神的資質のある人でしょう。
(2)121~140 点の人	この選手は、基礎となるプラスの精神的資質を多く持ち、何事にも勇気があり、確信を持ってバスケットボールに打ちこみ、逆境にあってもそれに負けずにやれる意志の強い人で、積極的な心の持主です。日本の代表、あるいは、実業団選抜、大学選抜等の選手として活躍し、また、トップ・レベル・チームのポイント・ゲッターとして、チームの精神面の大黒柱としてリーダー役を勤められる人でしょう。
(3)111~120 点の人	この選手は、一般に少々身体の調子が悪くとも精神面の外的圧迫等の障害をも恐れず、強い意志、精神力で毎日元気に練習できる人で、所属チームのレギュラーとして活躍できる精神的資質の持主でしょう。また、人並以上の体格、体力、運動能力(すぐれた技術)を持てば、優秀な選手になる資格のある人です。もしこれだけの得点を取ってレギュラーに出来ないでいる人がいるとすれば、多分バスケットボール環境(教育的、社会的、身体的、その他)に恵まれていない人でしょう。
(4)91~110 点の人	この選手は、一般にバスケットボール選手として精神的資質の面では、普通の心の持主です。レギュラーとして活躍しようと思うならば、人並以上に運動能力と技術を身につけると同様に、精神的資質を高める努力をしなければならない人でしょう。
(5)71~90 点の人	一般に下級生に見られる傾向がありますが、この選手はバスケットボールに対して、あるいはクラブ活動、対人関係について不安のある人で、少し弱気な精神的資質の持主です。熱意や協力心、自励心、勇気、自信を持たなければ所属チームのレギュラーに出来ないでしょう。今からすなわちになって積極的な精神的資質の持主になって下さい。そうすれば有意義な練習を毎日送ることができるようでしょう。
(6)41~70 点の人	この選手は、現在バスケットボールにそれほど興味を持っておらず、多分バスケットボールを続けることに疑問を抱いているのだと思います。コーチ、あるいは上級生達とよく相談し、自分の精神的資質のマイナスとなる葛藤、疑心、弱気など、消極的な心やもやもやを早く取り除くことです。
(7)40点 以下の人	この選手は、現在ほんの少ししかバスケットボールに関心を持っておらず、他に興味を持っている精神的資質の持主でしょう。

(4) 注(3)同書、46頁。

(5) 注(4)同書、45頁。

たがって次のように行った。

○印を選んだ者 = 2点 (プラスの精神的資質・積極的な心) △印を選んだ者 = 1点 (普通の精神的資質・普通の心) ×印を選んだ者 = 0点 (マイナスの精神的資質・消極的な心) 質問(91)は、現在の練習に対する心を見るもので、①～⑳までをプラス10点から1点ずつ減点し、①を選んだ場合は10点、②→9点、③→8点、…⑩→1点となるようにし、⑪～㉔まではマイナス点が加算され、⑪→-1点、⑫→-2点…㉔を選んだ場合は-10点となるように配点した。これは、総得点よりはらずして、別に評価した。以上の方法によって、選手の精神的適性を総合評価した。

表③ 心的自己適性診断テストの得点表 (左からイ、ロ、ハの順)

(1) (×△○)	(2) (○△×)	(3) (×△○)	(4) (○△×)	(5) (×△○)
(6) (○△×)	(7) (×△○)	(8) (○△×)	(9) (×△○)	(10) (○△×)
(11) (×△○)	(12) (○△×)	(13) (×△○)	(14) (○△×)	(15) (○△×)
(16) (○△×)	(17) (×△○)	(18) (○△×)	(19) (×△○)	(20) (○△×)
(21) (×△○)	(22) (×△○)	(23) (×△○)	(24) (×△○)	(25) (○△×)
(26) (○△×)	(27) (×△○)	(28) (×△○)	(29) (×△○)	(30) (×△○)
(31) (○△×)	(32) (○△×)	(33) (○△×)	(34) (○△×)	(35) (○△×)
(36) (○△×)	(37) (○△×)	(38) (○△×)	(39) (×△○)	(40) (○△×)
(41) (×○△)	(42) (×○△)	(43) (×○△)	(44) (×○△)	(45) (×○△)
(46) (×○△)	(47) (×○△)	(48) (×○△)	(49) (×○△)	(50) (○△×)
(51) (○△×)	(52) (○×△)	(53) (○△×)	(54) (○△×)	(55) (○△×)
(56) (○△×)	(57) (○△×)	(58) (×○△)	(59) (×○△)	(60) (×△○)
(61) (○△×)	(62) (×△○)	(63) (×△○)	(64) (×△○)	(65) (○△×)
(66) (×△○)	(67) (○△×)	(68) (○△×)	(69) (○△×)	(70) (○△×)
(71) (×△○)	(72) (○×△)	(73) (×△○)	(74) (×○△)	(75) (×○△)
(76) (×○△)	(77) (○×△)	(78) (○△×)	(79) (○△×)	(80) (×△○)
(81) (○△×)	(82) (○△×)	(83) (○×△)	(84) (○△×)	(85) (○△×)
(86) (○△×)	(87) (○△×)	(88) (×△○)	(89) (×△○)	(90) (○△×)
(91)				

5. 考 察

(1) バスケットボール部・柔道部・硬式野球部における心的自己適性診断とその評価

最初に対象の3団体であるが、バスケットボール部・柔道部においては、少人数であるが、総部員で実施した。まず、総合結果は⁶⁾表④のデータとなった。

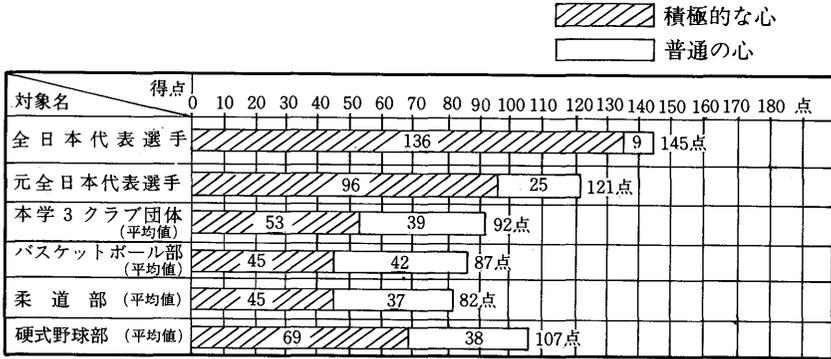
(6) 注(5)同書、47頁。

○……積極的な心
 △……普通の心
 ×……消極的な心
 □……練習に対する心

表④ 本学スポーツ選手の心的適性診断テストの結果表

クラブ名	選手別	人数	○	△	×	□	得点	ランク	クラブ名	選手別	人数	○	△	×	□	得点	ランク
バスケットボール部	正選手	1	46	48	19	- 2	92	4	硬式の野球部の選手	そ	12	58	34	27	+ 8	92	4
		2	54	37	26	- 2	91	4			13	72	34	20	+ 3	106	4
		3	30	48	27	- 5	78	5			14	82	32	17	+ 2	114	3
		4	46	48	19	+ 9	94	4			15	64	35	23	+ 9	99	4
		5	30	36	39	- 5	66	6			16	90	30	15	+ 9	120	3
	その他の選手	6	16	38	44	- 4	54	6		17	114	11	21	+ 2	125	2	
		7	50	37	28	- 2	87	5		18	40	40	30	- 3	80	5	
		8	24	52	26	- 2	76	5		19	58	28	33	+ 8	86	5	
		9	40	56	14	- 2	96	4		20	56	29	33	- 4	85	5	
		10	92	25	19	+ 8	117	3		21	72	31	23	+ 2	103	4	
		11	42	55	14	- 2	97	4		22	30	52	23	- 5	82	5	
		12	96	32	10	+ 8	128	2		23	24	74	4	+ 8	98	4	
		13	42	43	26	- 1	85	5		24	34	44	29	- 2	78	5	
		14	24	34	44	- 1	58	6		25	80	33	17	+ 2	113	3	
柔道部	正選手	1	28	51	25	+ 1	79	5	26	52	53	11	+ 8	105	4		
		2	62	30	29	- 3	92	4	27	82	35	14	+ 8	117	4		
		3	26	40	37	- 7	66	6	28	74	41	12	+ 2	115	4		
		4	34	32	41	- 8	66	6	29	92	27	17	+ 8	119	4		
		5	54	30	33	- 1	84	5	30	38	40	31	+ 9	78	5		
		6	70	37	18	+ 8	107	4	31	120	11	19	+ 8	131	2		
	その他の選手	7	86	17	30	- 4	103	4	32	112	19	15	+ 8	131	2		
		8	28	54	22	+10	82	5	33	110	14	21	+ 8	124	2		
		9	54	44	19	+ 3	98	4	34	44	51	17	+ 2	95	4		
		10	60	21	39	- 7	81	5	35	38	59	12	- 1	97	4		
		11	38	43	28	- 3	81	5	36	48	55	11	+ 2	103	4		
		12	20	44	36	- 2	64	6	37	64	40	18	+ 2	104	4		
		13	30	38	37	- 5	68	6	38	104	24	14	+ 5	128	2		
硬式野球部	正選手	1	98	21	20	+ 4	119	3	39	62	41	18	- 2	103	4		
		2	110	15	20	+ 8	125	2	40	84	33	15	- 2	117	3		
		3	26	45	32	- 2	71	5	41	122	17	12	+ 2	139	2		
		4	52	54	10	+ 9	106	4	42	68	30	26	- 2	98	4		
		5	66	26	31	+ 4	92	4	43	28	68	8	+ 2	96	4		
		6	72	33	21	+ 2	105	4	44	42	46	23	+ 8	88	5		
	その他の選手	7	30	42	33	- 2	72	5	全日本代表選手		136	9	13	+ 8	145	1	
		8	82	19	30	- 7	101	4	元全日本代表選手		96	25	17	+ 2	121	2	
		9	94	26	17	+ 2	120	3									
		10	100	37	3	+ 8	137	2									
		11	34	56	17	- 7	90	5									

図1 本学スポーツ選手の心的適性診断テストの結果内容比較



これでは、わかりにくいので、得点において各クラブと本学全体の平均値を算出し、全日本級選手との内容を比較して見たのが図1である⁷⁾。これによると、全日本級選手は得点が高く、その内容は、積極的な心が大部分を占めているのがわかる。それに比べて、本学スポーツの3団体の平均値は、得点も低く、普通的心が得点の1/2以上を占めているのがわかる。クラブ別に平均値を見ると、硬式野球部・バスケットボール部・柔道部の順に高い得点を示している。普通的心の値が、3団体とも余り変わらないのに対し、積極的な心の部分で差がついたのがわかる。このことから硬式野球部は、全体的にスポーツ選手として、個性を強く持った選手が多いと推測される。

(2) 正選手とその他の選手のクラブ別値比較

次に、クラブ別に正選手とその他の選手の最高・平均・最低の値を、比較して見たのが表⑤である(平均値は、少数点第1位までとした)。これをさらに折線グラフで示したのがグラフ①である。

バスケットボール部においては最高値・平均値ともに、正選手よりその他の選手が高い値を示している。しかし、正選手が最高値と最低値の差が28点と少ないのに対し、その他の選手はその差が74点と大きい、このため折線の落差が激しく示されている。その他の選手の中で、性格的にスポーツ選手としての個

(7) 注(6)同書、47～48頁。

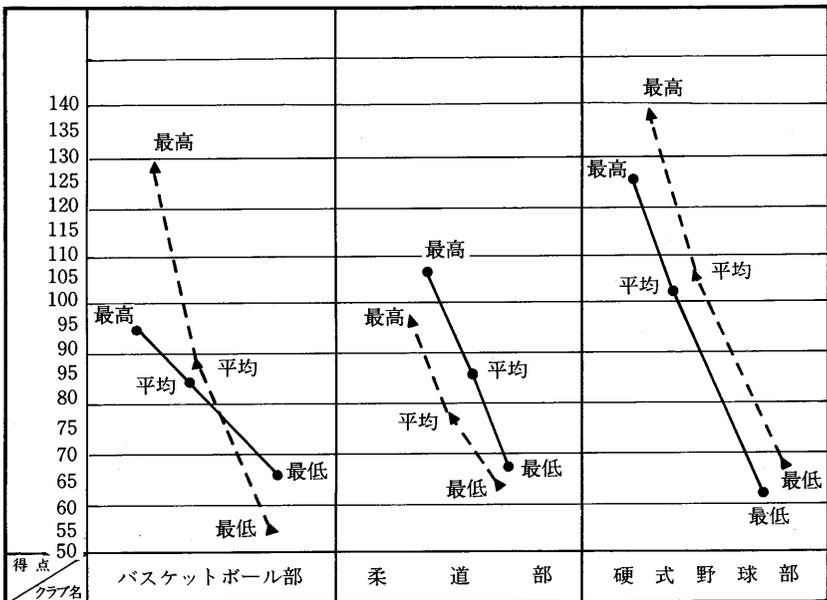
表⑤ 正選手とその他の選手のクラブ別値比較

正選手						
値	クラブ名	バスケットボール部(点)	柔道部(点)	硬式野球部(点)	全体(点)	
最高値		94	107	125	125	
平均値	5名	84.2	7名	85.3	9名	90.2
最低値		66	66	71		
その他の選手						
最高値		128	98	139	139	
平均値	9名	88.7	6名	79.0	35名	105.6
最低値		54	64	78	54	

正選手とその他の選手のクラブ別値比較グラフ

● 正選手 ————
▲ その他の選手 - - - - -

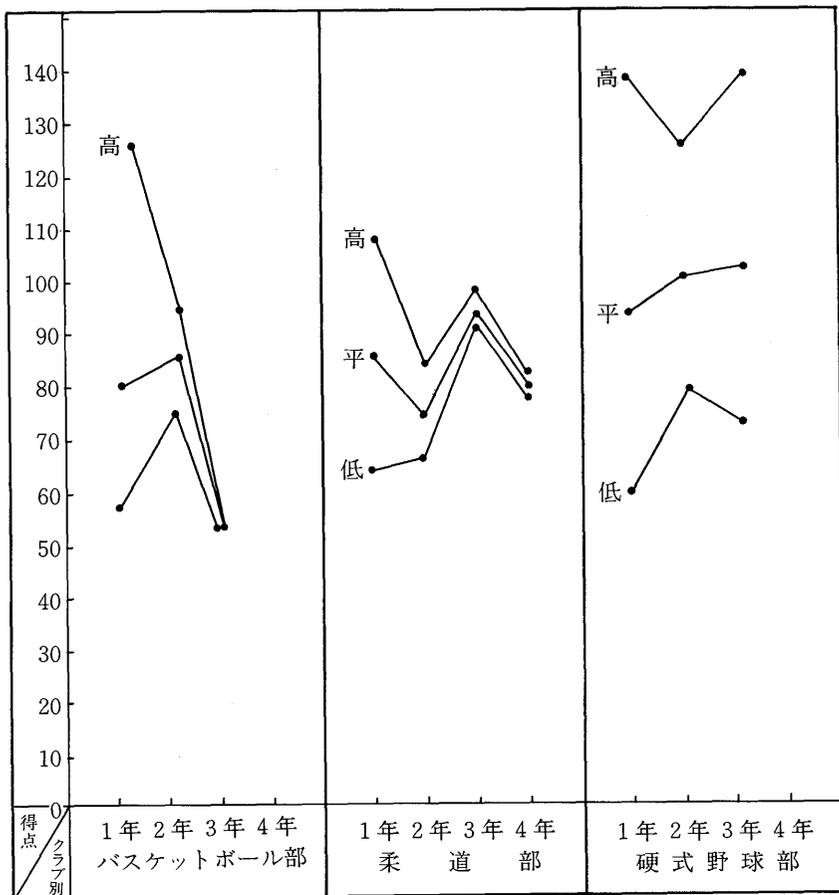
グラフ①



クラブ別の学年別・値比較グラフ

高-----最高値
 平-----平均値
 低-----最低値

グラフ ②



性が豊かな者は、将来、技術・体力を確保した場合大きく伸びることが予測される。正選手は、平均的な資質の持ち主である。

柔道部を見ると、最高・平均・最低の値が全部正選手よりもその他の選手が上回っている。しかし、その差は余りない。他のクラブのグラフと比べて見て、正選手とその他の選手が、同じような形を示しているのがわかる。これは、正選手とその他の選手とともに資質的に差がなく、同じような性格の選手が集まっていると考えられる。

次に、硬式野球部は、最高・平均・最低の値がともに正選手よりその他の選手が上回っている。これは、その他の選手の中で、大部分が資質的に良いものを持ち、技術・体力が今後つけば優秀な選手が誕生すると考えられる。

(3) クラブ別・学年別値比較

今度は、クラブ別・学年別に最高・平均・最低の値を、クラブ別の学年別に値を比較した(表⑥)(グラフ②)。

表⑥ 学年別、クラブ別値比較

学年	クラブ名	バスケットボール部(点)	柔道部(点)	硬式野球部(点)	全体(点)
1 学 年	7 名	128.0	4 名	21 名	139.0
		82.7			110.5
		58.0			78.0
2 学 年	6 名	96.0	4 名	11 名	125.0
		86.7			98.7
		76.0			78.0
3 学 年	1 名	54.0	2 名	11 名	137.0
		54.0			101.4
		54.0			71.0
4 学 年	/	/	3 名	/	82.0
		/			80.7
		/			79.0

バスケットボール部は、3年生が1名で、4年生が全員引退しており、また、硬式野球部も4年生が引退していたために、その値が求められなかったのは残念であった。

バスケットボール部は、1年生に大きな格差が見られるが、2年生はその格差が少なくなっている。しかし、2年生の方が平均値において1年生より上回っている。2年生は平均的に資質が集中しているのに対し、1年生は資質的にバラつきがある。

柔道部は、1・2・3・4年生ともバラつきが小さくなっている。そのためグラフは、高・平・低ともにほとんど同じ形になっている。これは、学年が上級になるにつれて、同じような資質のものが集まっているということである。

硬式野球部は、1・2・3年生ともに格差が激しく、1年生が最高値を示しているにもかかわらず、平均値では2・3年生が上回っている。他の2団体と比較すると平均値では、各学年とも上回っており、資質的には優れている。全体的に見ると3団体ともに、1年生に最高値を示しているものがあり、将来、順調に伸びれば、レベルアップするものと考えられる。

次に、値別の学年別・クラブ比較をした(グラフ③)。

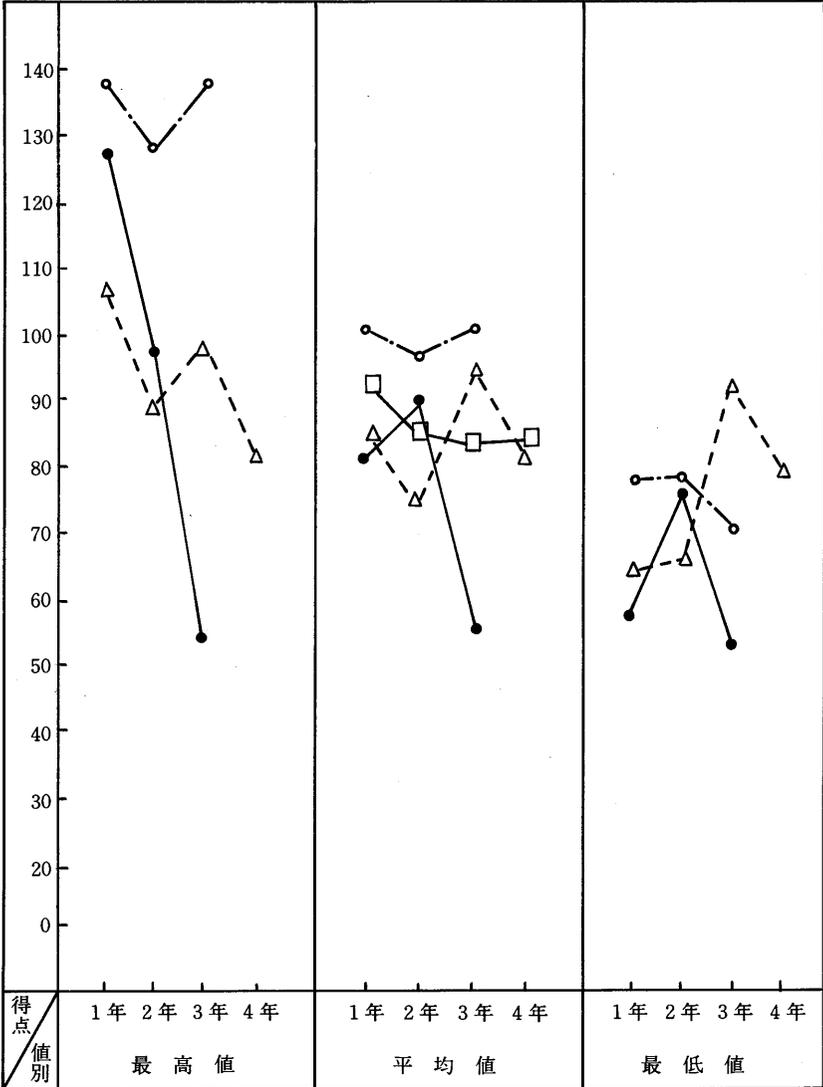
最高値では、硬式野球部が各学年ともすべて高い値を出し、柔道部は各学年とも平均的な値を出している。バスケットボール部は、前述のように、3年生のデータ不足であるためと思われるが、格差の激しいグラフになっている。平均値は、全体の平均値を入れ、その差を検討した。ここでも硬式野球部が各学年とも高い値を示し、柔道部のグラフは、その全体の平均値のグラフに近い形を示しており、バスケットボール部は、各学年とも全体の平均値より下回っている。

最低値では、硬式野球部・柔道部・バスケットボール部とも格差が少なくなってきた。全体的に見て各値とも3年生にバラつきが多いのがわかる。これは、1・2年生に資質的に似たものが集まり、3年生は各クラブによって資質的に良いものを持ったクラブと、乏しいクラブとにわかれていると思われる。

値別の学年別・クラブ比較グラフ

バ ●——●
 柔 △-----△
 野 ○-----○
 全 □-----□

グラフ③



(4) 点数別・クラブ別の人数比較

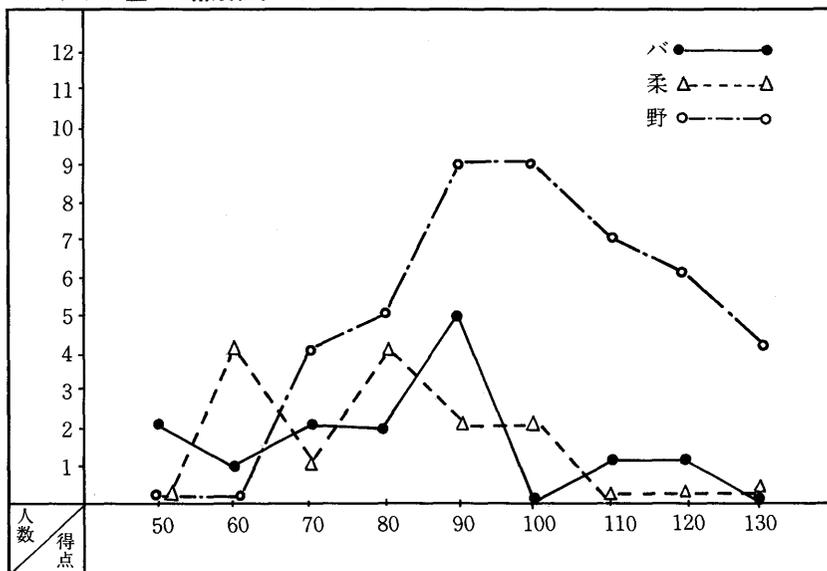
次に点数を、50・60点台と分け、それぞれクラブ別に人数はどのように分布しているか、その比較を表にした(表⑦)(グラフ④)。バスケットボール部では90点台に多く集まり、あとは広く少なく各点に分布している。これは、90点台を頂点とし、その前後に資質的に豊かなものと乏しいものが平均的に揃っていると考えられる。

柔道部は、60点台から100点台まで集まり、110点以上と60点台以下の者が1人もいないのがわかる。また、60点台・80点台を頂点にしてかたまっている。

表⑦ 点数別・クラブ別の人数比較

得点 クラブ名	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100~109	110~119	120~129	130~
バスケット ボール部	2	1	2	2	5	0	1	1	0
柔道部	0	4	1	4	2	2	0	0	0
硬式野球部	0	0	4	5	9	9	7	6	4
全 体	2	5	7	11	16	11	8	7	4

グラフ④ 点数別・クラブ別の人数比較



これは、非常に高い値の者も、非常に低い値の者もないが、同じような資質の者が集まっていると考えられる。硬式野球部は、70点台以下が1人もなくあとは70点台から130点台までに集まっている。90点台と100点台を頂点にしてなだらかなグラフを描いている。このことから90点台・100点台を中心にして、よい資質の持ち主が集まっていると考えてよからう。

(5) 本学スポーツ選手の心的自己適性診断テスト「練習に対する心」における全体の得点別人数状況

次に、今度は(問91)で得た現在の「練習に対する心」の資料について検討して見た。これは、前述したように評価を+10~-10までに分けたものである。これを、得点別にした(表⑧)(グラフ⑤)。

本学スポーツ3団体は、得点が+8・+2・-2に集中している。また、あとは少ない数で多くにちらばっていることがわかる。

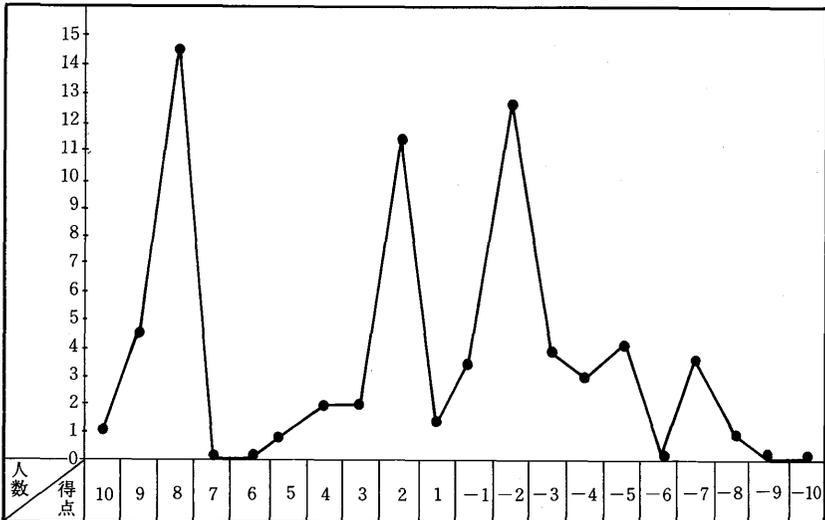
表⑧ 本学スポーツ選手の心的診断テストの「練習に対する心」における全体の得点別・人数状況

グラフ(人数) \ 得点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10
全 体 (71名)	1	5	15			1	2	2	12	1	4	13	4	2	4		4	1		

プラス面 (39名)

マイナス面 (32名)

グラフ⑤ 「練習に対する心」における全体の得点別人数状況グラフ



得点...→+8・+2・-2とは

+8→信念を持ってやっている。

+2→毎日元気に練習できる

-2→将来が不安である。

本学スポーツ3団体においては、信念を持ってやっている型と、毎日元気に練習できる型と将来が不安である型とが多勢を占めている。これは、充実した心で練習をやっているということである。プラス面とマイナス面を比較して見ると、39名・32名と二分する形となっている。

(6) 「練習に対する心」における正選手とその他の選手のクラブ別・得点別人数状況

次に、これを正選手とその他の選手のクラブ別・得点別に人数状況(表⑨)を比較した(図2)。

表⑨ 「練習に対する心」における正選手とその他の選手のクラブ別・得点別人数状況

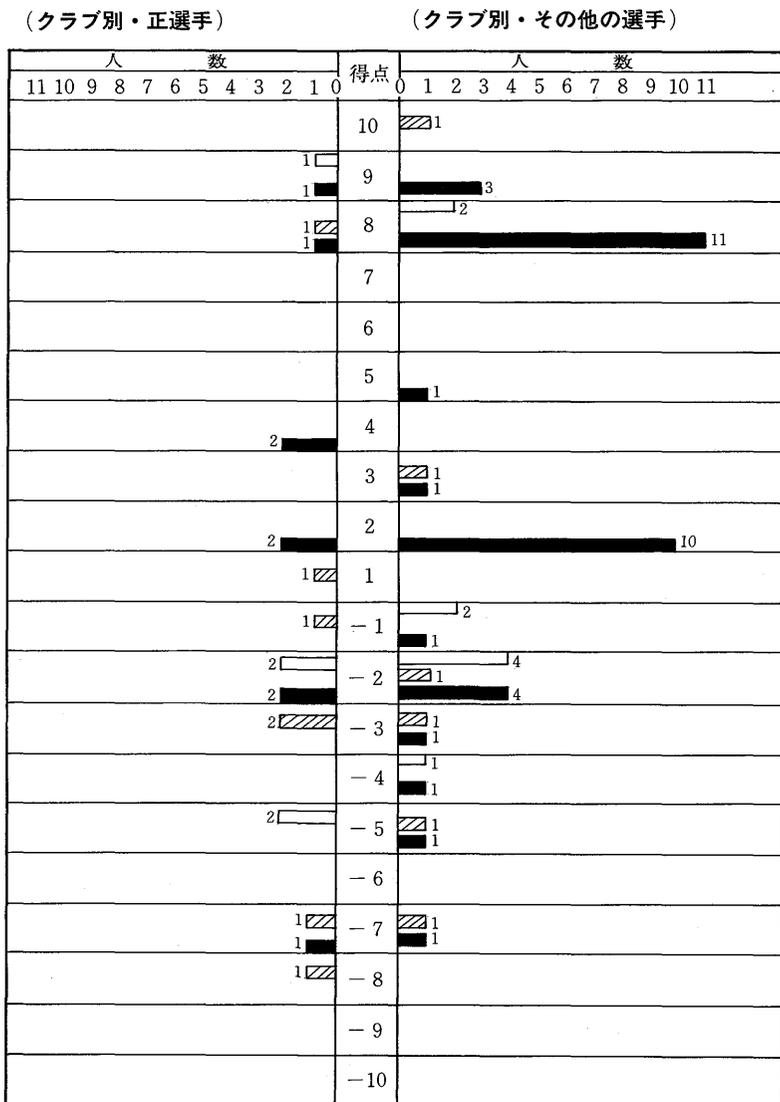
正選手

得点 クラブ名(人数)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10
バスケット ボール部(5名)		1										2			2					
柔道部(7名)			1							1	1		2					1	1	
硬式野球部(9名)		1	1				2		2			2							1	

その他の選手

得点 クラブ名(人数)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10
バスケット ボール部(9名)			2								2	4		1						
柔道部(6名)	1							1				1	1		1			1		
硬式野球部(35名)		3	11			1		1	10		1	4	1	1	1			1		

図2 「練習に対する心」における正選手とその他の選手の
クラブ別・得点別人数比較



バスケット部
 柔道部
 硬式野球部

バスケットボール部は、正選手・その他の選手ともにマイナス面に多く集まっている。正選手は-2（将来不安である型）と-5（弱気である型）が多い。その他の選手は、-2（将来不安である型）が一番多くなっている。正選手・その他の選手とも将来不安である型が多い。柔道部は、正選手・その他の選手ともマイナス面が多く、正選手は、-3（心配である型）が中心で、あとはちらばっている。その他の選手は、やはり、マイナス面が多いが、これは、全体的にちらばっている。このことから柔道部は、現在、選手が各自各様の気持で、練習を行っているのではないかと考えられる。硬式野球部は、正選手・その他の選手ともプラス面が多いのがわかる。正選手は、+2（毎日元気に練習できる型）と+4（練習が愉快である型）が多い。しかし、マイナス面で-2（将来不安である型）にも人数が集まった。その他の選手では、+2（毎日元気に練習できる型）と+8（信念をもってやっている型）が多く占めている。硬式野球部は、他の2団体に比べると正選手・その他の選手が、充実した気持ちで練習を行っているのではないかと考えられる。

(7) 「練習に対する心」における、学年別のクラブ別・得点別人数状況次に、これを学年別のクラブ別・得点別に人数状況を見た（表⑩）。

表⑩ 「練習に対する心」における、学年別のクラブ別・得点別人数状況

クラブ	学年	得点																			
		10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10
バスケットボール部	1 (年)		1	2									2	1						1	
	2 (年)												5			1					
	3 (年)														1						
	4 (年)																				
柔道部	1 (年)			1									1		1	1					
	2 (年)										1				1			1	1		
	3 (年)								1					1							
	4 (年)	1									1								1		
硬式野球部	1 (年)			7			1			8		1	3								
	2 (年)		2	2						3			1	1	1	1			1		
	3 (年)		1	3				2	1	1			2						1		
	4 (年)																				

バスケットボール部においては、+9(思いのまま型)と+8(信念をもっている型)が、1年生に見られるだけで、あとは、マイナス面に集まっている。これは、現在、練習を行っている時に、何らかの不安があるのではないかと思われる。柔道部においては全体にバラつきぎみであるが、やはり、不安な気持ちをもっているものが多少見かけられる。それにくらべて硬式野球部は、各学年ともに、希望や自信を持っているものが多く見られる。これは、大きな特徴である。

(8) 本学スポーツ選手の心的自己適性診断テストの「評価」におけるクラブ別状況

次に、本学スポーツ選手の心的自己適性診断テストの「評価」におけるクラブ別状況を見た(表⑪)。

バスケットボール部においては、評価(4)を中心に(5)・(6)と続いている。これは、心的自己診断によると、平均的資質の持ち主から下級生に見られるタイプまた疑問をもっているタイプと続いている。柔道部もまた、バスケットボール

表⑪ 本学スポーツ選手の心的適性診断テストの「評価」におけるクラブ別状況

得点	クラブ	バスケットボール部	柔道部	硬式野球部	クラブ全体数
(1)	140点以上の人	0	0	0	0
(2)	121~140点の人	1	1	7	9
(3)	111~120点の人	0	0	10	10
(4)	91~110点の人	6	4	17	27
(5)	71~90点の人	4	5	10	19
(6)	41~70点の人	3	4	0	7
(7)	40点以下の人	0	0	0	0

部と同じような傾向が見られる。それに比べて硬式野球部は、平均的資質の持ち主を中心に正選手として活躍できるタイプ、トップ・レベルでできるタイプと広がり、なかには下級生に見られるタイプも入っている。したがって、バスケットボール部・柔道部は、いまより精神的資質の向上を目指すことが大事で

ある。硬式野球部は、精神的資質に体力・技術をつけていくことが重要であると考えられる。

おわりに

バスケットボール部は、1年生やその他の選手の部分に、資質の高いものと低いものとの格差が激しく表われ、2年生や正選手は平均的な資質の持ち主が多いことがわかった。練習に対する心は、全体として将来不安である型が一番多く占めている。また、評価は平均的資質の持ち主タイプと、下級生に多く見られるタイプと疑問をもっているタイプとが多数を占めていた。このことで、資質の低い者を引き上げ、格差をなくし、平均的に資質の向上を目指すことが必要である。また、将来不安である型が多いということも指導者や選手自身で認識し、その不安材料をなくし、やる気や自信を持たせることが今後の課題と思われる。

柔道部は、学年別・正選手・その他の選手においても同じような資質の持ち主が集まっている。その中でも上級生になおその傾向が強いのがわかる。練習に対する心は、全体にバラついているのであるが、その中でも若干マイナス面が多いことがわかった。評価に関しては、バスケットボール部と同じく、平均的資質の持ち主タイプと下級生に多く見られるタイプと疑問をもっているタイプとが多数を占めていた。今現在、低い資質の位置で全体が集まっているため指導者や選手自身がそれをよく自覚し、全体を向上させることが必要である。また、現在、不安な気持ちの者も少なくなく、この状況も把握し、やる気をださせることが課題である。

硬式野球部は、バスケットボール部・柔道部に比べて高い資質の持ち主が多い。1年生やその他の選手により資質の持ち主がおり、2・3年生や正選手は平均的な型を示していた。練習に対する心においても、毎日、元気に練習できる型や練習が愉快である型、信念を持ってやっている型など、練習に意欲・自信などをもって行っている者が多く、評価においても他の2団体と異なり、正

選手として活躍できるタイプやトップ・レベルでできるタイプなどが、平均的資質の持ち主タイプとともに、多く含まれていた。資質的には申し分ない学生が多く、今後これが開花し、それに体力・技術がともなったときが楽しみである。指導者・選手自身が自覚して今後精進してもらいたい。以上3団体について評価を検討したが、今回調査の対象としたクラブ員達の心的レベルは、残念ながら低い位置にあった。したがって、本調査ではそのような低いレベルでの相対的評価になってしまった。今後は、全選手がトップ・レベルでプレーできる資質、気持ちになることを目標に、努力していくべきであるとする。